

# 愛媛県の地震

2022年（令和4年）7月

## 目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図…………… 1
2. 地震概況（7月）…………… 1
3. 地震一口メモ  
火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方と  
それを踏まえた情報発信の運用改善について…………… 2

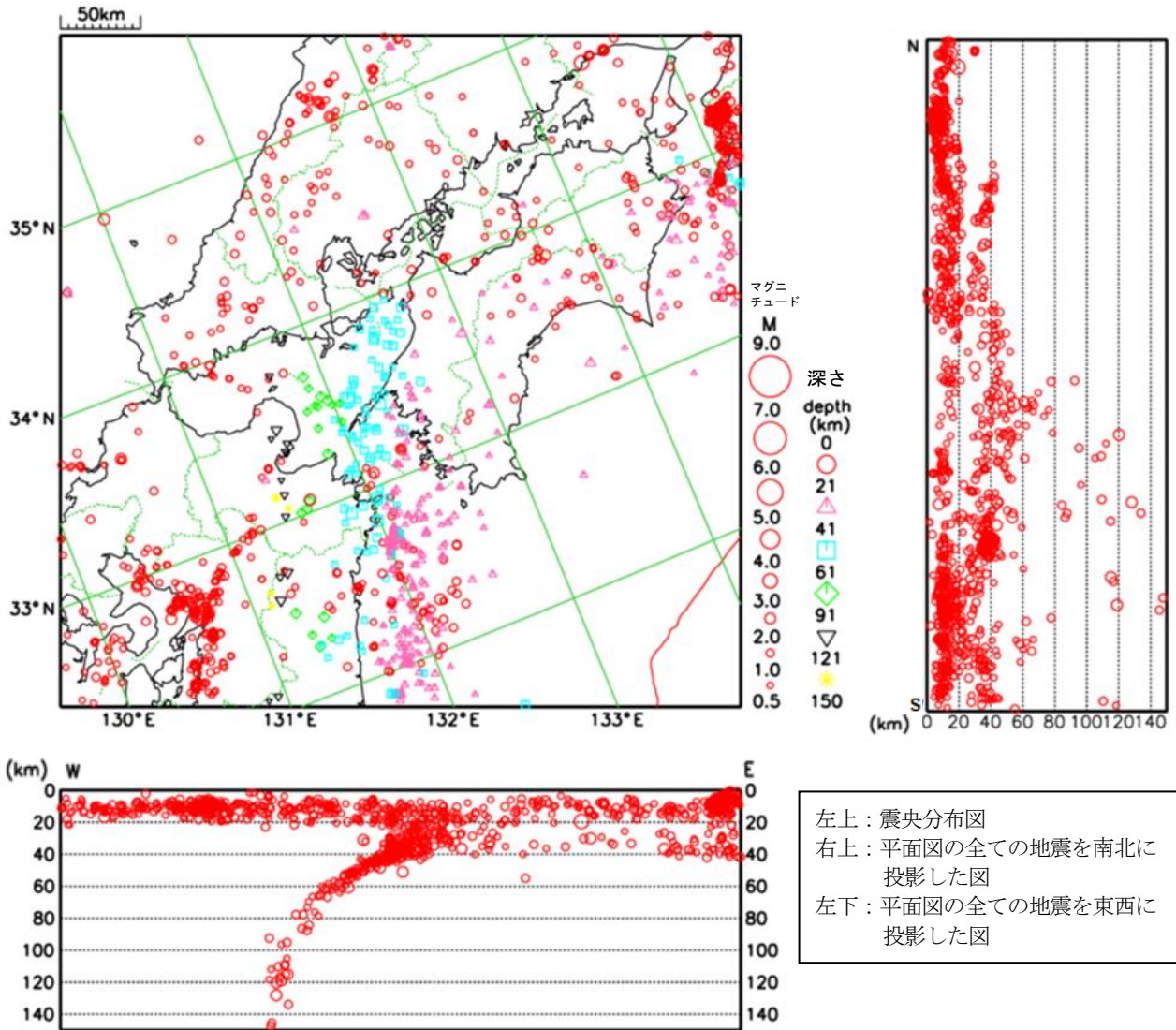
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

## 1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2022年7月1日～7月31日]



震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。また、シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を表現しています。

## 2. 地震概況（7月）

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうち M2.0 以上の地震の回数は 70 回（先月は 82 回）、愛媛県内で震度 1 以上を観測した地震は 0 回（先月は 7 回）でした。

### 3. 地震一口メモ

#### 火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方とそれを踏まえた情報発信の運用改善について

令和4年1月15日に発生した、フンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山の噴火による潮位変化を踏まえ、「火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方検討会」において情報のあり方を検討し、その結果がとりまとめられました。

また、当面の対応としてきた情報発信について、本検討会の報告書を踏まえた運用の改善を行いました。

#### 1 「火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方検討会」の報告書の概要

取りまとめられた報告書の主な内容は以下となります。

- ・ 潮位や気圧の観測結果を基に津波警報・注意報の仕組みを活用し、注意警戒を呼びかける。防災対応の中では「津波」として情報提供を行う。
- ・ 火山噴火による気圧波に起因する潮位変化に対しては、日本に潮位変化が到達するまでの猶予時間を活用して、丁寧な解説や情報提供を行う。
- ・ 気圧波以外にも、山体崩壊等の火山現象により潮位変化が発生する場合があります。観測結果を基に津波警報・注意報を発表する。稀な現象であっても防災対応につなげるためには、平時の普及啓発と、現象発生時の記者会見等での丁寧な解説が重要となる。

#### 2 報告書を踏まえた情報発信の運用改善について

当面の対応として行ってきた「遠地地震に関する情報」や津波警報・注意報の仕組みを用いた情報発表について、検討会報告書を踏まえ、以下の運用改善を7月27日より開始しました。

- ・ 気象衛星ひまわりの解析結果も用いた情報提供や、次回情報発表目安時刻の提供
- ・ 津波の発生に関係が深い観測結果が得られた際には、記者会見等での丁寧な解説・情報提供

＜運用改善後の情報文のイメージ（遠地地震に関する情報）＞

①大規模噴火が観測された際に発表する情報

②大規模噴火に伴い、海外の潮位変化を観測/気象衛星「ひまわり」で変化が解析された際に発表する情報

地震情報（遠地地震に関する情報）  
15日13時10分ごろ、海外で規模の大きな地震がありました。  
震源地は、南太平洋（南緯20.3度、西経175.2度）と推定されます。  
詳しい震源の位置はトンガ諸島です。

日本への津波の有無については現在調査中です。

令和4年1月15日13時10分頃（日本時間）にフンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山で大規模な噴火が発生しました（ウェリントン航空路火山灰情報センター（VAA C）による）。

海外の検潮所での津波の観測状況については、随時お知らせします。

この噴火に伴って津波が発生して日本へ到達する場合、到達予想時刻は早いところ（【領域名】）で、〇〇日〇〇時〇〇分頃です。予想される津波の最大波の高さは不明です。  
今後の情報に注意してください。

次の遠地地震に関する情報は、〇〇日〇〇時〇〇分頃に発表の予定です。  
なお、新たな観測結果が入った場合には随時お知らせします。

（注1）本情報の冒頭に「海外で規模の大きな地震がありました。」や「震源地」とありますが、これは「遠地地震に関する情報」を作成する際に自動的に付与される文言です。実際には、規模の大きな地震は発生していない点に留意してください。  
（注2）早い場合の日本への到達予想時刻は、火山の大規模噴火により発生した気圧波が310m/sで伝播し津波が発生したと想定した時刻です。  
（注3）地震に伴い発生する通常の津波が日本に到達する場合、【領域名】で〇〇日〇〇時頃と予想されます。

地震情報（遠地地震に関する情報）  
15日13時10分ごろ、海外で規模の大きな地震がありました。  
震源地は、南太平洋（南緯20.3度、西経175.2度）と推定されます。  
詳しい震源の位置はトンガ諸島です。

日本への津波の有無については現在調査中です。  
太平洋の広域に津波発生可能性があります。

令和4年1月15日13時10分頃（日本時間）にフンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山で大規模な噴火が発生しました（ウェリントン航空路火山灰情報センター（VAA C）による）。

既に観測された各地の津波の高さは以下のとおりです。  
\*印の津波の高さは太平洋津波警報センター（PTWC）による。  
国・地域名 検潮所名 これまでの最大波の高さ  
トンガ マクアラファ 0.8m \*  
フィジー スバ 0.3m \*  
米領サモア パロパロ 0.6m \*  
クック諸島 ラトonga島 0.3m \*  
サモア アピア 0.2m \*

気象衛星ひまわりの画像から、噴火に伴う気圧波に対応すると考えられる明瞭な変化が解析されました。この噴火による気圧波に起因する津波が発生している可能性が相対的に高まったと考えられます。

この噴火に伴って津波が発生して日本へ到達する場合、到達予想時刻は早いところ（【領域名】）で、〇〇日〇〇時〇〇分頃です。予想される津波の最大波の高さは不明です。  
今後の情報に注意してください。

次の遠地地震に関する情報は、〇〇日〇〇時〇〇分頃に発表の予定です。  
なお、新たな観測結果が入った場合には随時お知らせします。

（注1）本情報の冒頭に「海外で規模の大きな地震がありました。」や「震源地」とありますが、これは「遠地地震に関する情報」を作成する際に自動的に付与される文言です。実際には、規模の大きな地震は発生していない点に留意してください。  
（注2）早い場合の日本への到達予想時刻は、火山の大規模噴火により発生した気圧波が310m/sで伝播し津波が発生したと想定した時刻です。  
（注3）地震に伴い発生する通常の津波が日本に到達する場合、【領域名】で〇〇日〇〇時頃と予想されます。

報道発表：火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方とそれを踏まえた情報発信の運用改善について  
[https://www.jma.go.jp/jma/press/2207/27a/tonga\\_kentoukai\\_houkokusho.html](https://www.jma.go.jp/jma/press/2207/27a/tonga_kentoukai_houkokusho.html)